

事務局から

▼5月3日、滋賀県立大学の木村裕先生を講師に「グローバル人材の育成と課題」と題して講演を願った。財界は国際的競争力を維持しつつ、持続的成長を遂げるためグローバルな人材を求めている。我が国の競争力の源泉は人材力につきるからと。

講演は、地球上の貧困や格差、環境破壊、紛争など世界中の国々や人々が協力し解決に向け積極的に行動に参加する「地球市民」を育成することだという。子どもたちをどう育てるのか問われる。

▼最近、研究所のネットを見て、既刊の「教育情報」購入の申し込みが目立つようになった。一層HPを充実し、新たな会員を増やしたい。

▼2016年度総会を9月25日(日)新潟市社会福祉会館にて開催の予定。記念講演に岡野勉副理事長(新潟大学)に「次期学習指導要領とアクテブラーニング」を予定している。(内山)

編集後記

▼参議院選挙が終わった。森ゆう子さんが野党統一候補として当選したが、改選勢力は国会で3分の2を占めた。しかし国民は決して憲法改正を支持して投票したわけではない。これらが主権者として18歳だけでなく全員がその判断を問われることになる。

▼選挙の争点にもなった貧困と大学の奨学金制度について特集を企画した。貧困は世代間連鎖をする。日本の取り組みはOECDの中で一番遅れている。社会保障が貧しいからである。自己責任、自助努力が叫ばれているが、それが問題をより深刻化させている。

▼新潟市では子ども食堂が夏休みに開かれるという新潟日報の記事(7月20日)があった。いま子どもたちの状況がどうなっているのであろうか。特集Ⅱの企画の趣旨である。夕方のニュースでポケモンGOのゲームの問題を自由法曹団が新潟市教育委員会に申し入れにしていた。夏休み、子どもたちが事故や事件に巻き込まれないことを望みたい。

▼世界ではテロが一向になくならない。アメリカでは統の乱射事件が起きている。オバマ大統領は今後30年間に100兆円のお金を新型核兵器の開発に使うという(堤未果「政府はもう嘘をつけない」。「武器を楽器に」というスローガンがあったが、いま核のない平和で公正な世界が求められている。

猛暑の季節です。会員のみなさんご健康をお祈りいたします。(伊藤)

にいがたの教育情報 No. 121

2016年8月5日発行

編集・発行 にいがた県民教育研究所

発行人 小林 昭三

〒951-8116

新潟市中央区東中通1-86 山崎ビル

電話・FAX (025)228-2924

振替口座 00640-0-12332

Eメール kyoiku@triton.ocn.ne.jp

印刷所・神林印刷

TEL 0254-66-7959